



広報

No.240

～ 文教のまち西原 ～

# にしはら

## 町の世帯・人口

(平成3年12月末現在)

|     |         |
|-----|---------|
| 世帯数 | 8,045戸  |
| 人口  | 26,495人 |
| 男   | 13,557人 |
| 女   | 12,938人 |

### 12月の人口移動

|    |     |    |     |
|----|-----|----|-----|
| 出生 | 26件 | 死亡 | 10件 |
| 転入 | 70件 | 転出 | 77件 |
| 婚姻 | 14件 | 離婚 | 3件  |

編集・発行/西原町役場企画課(広報係) 西原町字嘉手苅112番地 ☎098(945)4533 印刷/(協)丸正印刷



## 新年の願いを筆に託して

町文化協会書道部会(久高秀山部会長)は、初の町民かきぞめ大会を1月5日町民体育館で開きました。

古代より1月2日に行われている新年の願いを筆に託する筆初めの伝統文化を継承することが目的。

午前中は約170人の幼・小中学生を対象に、午後は約50人の高校生成人を対象に、書道部会員の添削指導も行われ、会場いっぱいが静粛な雰囲気包まれました。

### 主な内容

- 二面…感想文
- 三面…成人式
- 四面…4遺体収集
- 五面…朝市
- 六面…歩こう歩こう
- 七面…年始会
- 八面…シリーズ
- 九面…区の紹介
- 十面…お知らせ
- 十二面…二月の予定



時。流れる「時」。手からこぼれ落ちてゆく「時」。自分の知らない隠された「時」。

その「時」とは、パトリシアにとって、厚い金の古い懐中時計だった。金時計は、パトリシアの知らない「時」と、知らない少女―幼い頃のお母さん―ルツを見せてくれる。家族に押しつぶされ、傷つきやすく、不安定なルツ。ありのままの自分を受け入れてくれない母親に怒りを感じているルツ。パトリシアは、そんなルツを好きになった。たとえ三十五年後、ルツがパトリシアに対して同じことをしても。

パトリシアは、少女のルツに理想を見たのだと思う。積極的で勇気があって、誰にも負けない美しさと魅力を持つルツ。それでいて家族から孤立してしまうルツ。パトリシアも両親の愛情を望みながらも、両親の離婚という事実が耐えられず、両親をも信じる事ができずに、湖にあるコテージにきてさえ、孤独を味わうのだ。いとこたちのあざけりと、慣れない世界への戸

惑い。そして、自分に対しての臆病さが、パトリシアをこりつかせてゆく。金時計は、そんなパトリシアを三十五年前へと連れていってくれたのだ。

ルツの十二才の夏は、パトリシアの様に、孤独な夏とな

## 「床下の古い時計」を読んで

最優秀賞



〈3類〉西原東中  
東江麻希子

第28回全沖縄青少年読書感想文

感想画コンクール (主催 琉球新報社 沖縄県学校図書館協議会)

き、心の奥のひび割れる様な痛み。でも私には支えてくれるものがある。ルツにはそれがない。兄たちからは「小さいから」と遠ざけられ、母からは「おとなしい女の子」を押し付けられ、それを父に訴えても「仕方ないこと」で

った。誰からも相手にされない誰もわかってくれない。そんな疎外感があった。たとえそれが、ひがみからくるものだとしても。こんな気持ちには誰だって持っている。私だってルツと同じだ。友達と騒いでいても一人なのだと思うと

しい。

ルツは、ルツのお母さんの大切にしている金時計を、ラ・プチの床下に隠してしまう。自分のことを分かってくれないお母さん。女の子だからという理由で、押さえ付けられるお母さん。兄妹でいたずらをして、ルツだけを怒るお母さん。あふれる怒り、戸惑い、絶望感。金時計を隠したのは、そういう母親の束縛に対する必死の抵抗だったのだと思う。後ろめたい思いや罪悪感が、ルツを苦しめるだろう。それでもルツは金時計を隠した。母親への反発と復讐。この様にして、夏の終りと共にルツは変わった。

大人になったルツ、パトリシアのお母さんは、美しく、自信にあふれるキャリアウーマンだった。娘のパトリシアにとって理解ある母親でありたいと思っていた。パトリシアが自立できる人間になることを願っていた。その願いは、パトリシアにとって辛いことだった。ルツに「あなたの意見は」と聞かれる度、母がどんな答えを望むのか、母

の望み通りの返事をする。娘の自由に任せる様に見えても、暗に自分の氣にいる答えを求めてれば、自分の少女の頃と全く同じ思いを娘が味わうのだと気付きもしなかった。パトリシアにとっていい母親なのだという自己満足にすぎないし、本当のパトリシアを見ることができない。

パトリシアは両親の愛情を望んでいたし、離婚して欲しくないと思っていた。それでも、ルツの望む「調和のとれた子供」を演じるために甘えられず、そして何も言えず一人で殻の中に閉じ籠もるのだ。しかし、金時計で三十五年前のルツを知ることによって少しずつ殻は溶けてゆき、最後には自信といふと達という仲間を得る。そしてルツとも理解しあうことが出来るのだ。パトリシアが欲していたもの、それはありのままの自分を受け入れて欲しいという事だろう。自分を認めて貰う事は、大きな支えとなり、励みになる。少女から大人への途中でのオアシスなのだと思う。私はその道の途中に在るの



かもしれないし、もう通ってしまつたのかもしれない。もしかすると、まだ入ってすらないのかもしれない。それはとても恐ろしいし、不安でさえある。ステップを踏むのにためらいも感じる。でもそれは、必ず通らなければならぬ所であり、その先には私という誰でもない自分自身がいる。たとえ私自身が満足できない私であっても、それは今の私が作りあげるのだ。

私でも、パトリシアの様に大きくなれるだろうか。あのルツの様に、すっかり変わってしまうのだろうか。孤独の殻を破って大きくなったパトリシア、変わってしまったルツ。

この本を読み終えた今、それがどんな結果になろうとも目の前に広がる大きな道に、私も立っているのだと、歩き出しているのだと、はっきりと感じた。



## 創造とロマンを失わず どこまでも可能に挑戦しよう

### 568人が晴れの新成人

## 平成四年町成人式

町成人式(町・町教育委員会主催)が一月十五日午後二

時から、町中央公民館で開催されました。



出席者全員が町歌を斉唱(円内左から我謝正精さん、桑江あずささん)

今年の新成人は男三百四十七人、女二百二十一人の合計五百六十八人。女性ほとんど華やかな着物姿で、男性はスーツ姿や紋付きはかま、中には琉装姿で、式典に参加していました。

式典では、町少女合唱団の音頭に合せて、出席者全員が町歌を斉唱して始まりました。あいさつの中で平安町長は「豊かで平和な次代を創造し、国際感覚を身につけた若人として、地域社会の発展に貢献してほしい」と祝福しました。

これに対し、新成人を代表して我謝正精さんが「今日この日を新たな出発点とし、これから益々努力、精進したい」、桑江あずさんは「物事の一つひとつが自分の成長のステップになるよう精一杯頑張りたい」と謝辞を述べました。最後に、声楽家の伊江朝明さんが独唱し、新成人を激励していました。

所得税の確定申告は、2月16日から3月16日まで  
期限間近は大変混雑しますので早めに申告して下さい。



# 47年間も土の中に…

## 工事現場から4遺体を収集

終つてない戦後処理

十二月二十七日、町道安室  
池田線道路改良工事中に、  
字桃原二百四十一番地(沖縄  
カントリー近く)で、遺骨4  
柱が発見され、一月八日午前  
県援護課や町・工事関係者ら  
によって収集されました。



工場現場から4遺体が発見された

遺骨とともに「中田」「贈  
?中第十四回卒業生」と刻ま

れた印鑑や軍靴、羅針盤、ナ  
イフなどが見つかったため、

沖縄戦中に戦死した旧日本兵  
とみられ、町はこれらを手掛  
かりに遺族関係者を捜す予定。  
現場は改良工事が行われて  
いる斜面。パワーショベルで  
土を掘り起こしている際に偶  
然、たこ壺のようなものが現  
われ、さらに掘り進めると地  
中約一・五メートルの所で同じ方向  
に頭を向け、二体が二体の上  
に重なるように横たわってい  
る遺骨が発見されました。

現場で花束をささげた後、  
平安町長は「四十年以上も土  
中に眠っていた遺骨が幸い工  
事によって見つかった。長い  
間気の毒だったと思う。ご宴  
福を祈ります」と述べました。  
また、地域から駆け付けた  
喜屋武有榮さん(字安室七十  
五番地)は「この地域は、か  
なりの激戦地で、戦後多くの  
遺体が見つかったところだす  
と話していました。

## いきいき輝く農漁村女性をめざして

### 女性の力で開かれた地域活動を

就農婦人育成講座閉講式

(主催沖縄県中部農業改良普  
及所)が、一月十日午後、町  
社会福祉センターで開かれま  
した。

農漁業就農婦人を対象に昨  
年六月開講以来、八回の講座  
活動が終り、渡久地トヨ中城  
支所長から十七人に対し修了  
証が手渡された後、受講生代  
表あいさつをした屋良富子さ  
んは「農婦人は重労働で、し  
かも忙しい中、がんばり通し  
た。講座の際にもらった資料

が良く、大変勉強になった」  
と話していました。

引き続き行われた農漁村女  
性のつどいでは、宮平正輝町  
産業課長が「地域農業におけ  
る女性への期待」と題し基調  
講演。その後地域で活躍する  
農村女性四人のパネラーを中  
心に、パネルディスカッション  
が行われ、約五十人の参加  
者が、能力開発と役割向上を  
再認識しました。

なお、パネラーは次の通り  
(敬称略)



就農婦人育成講座閉講式のもよう

▽小川貞子(町農協婦人部長)  
▽呉屋光子(あやめ生活改善  
グループ会長)▽城間富子  
(RBC地域レポーター)▽  
小波津弘子(独居老人奉仕員)



平安町長も駆け付けて花束をささげた





## 緑を町のイメージカラーに

第8回西原まつりで選出されたミス西原（二代目）三嬢のユニホームが、このほど出来上がり、1月10日午後、一般披露されました。

ウールとポリエステル混合の緑色の生地、かすりが縫い込みされ、夏冬兼用の着心地のよいユニフォームで、胸にかけたブーゲンビリア（町花）のコサージュが、一段と鮮やかさを増しています。

今回のユニフォームの製作について、デザイナーの上里幸子さんは「デザインは国際的に、素材はうちなーのものを、色は西原町のイメージとして製作した」と話していました。



## マイペースで気楽に完走

町民の健康保持、増進及び体力づくりを図るため、第7回町新春トリムマラソン大会が、1月5日午前、西原小学校グラウンドで行われました。

「だれでも、どこでも、いつでも」気軽に参加できる「トリムマラソン」として、子供から大人まで（3才～67才）参加者300人がマイペースで、3kmと5kmに挑戦していました。

なお、表彰された方は次の通り。（敬称略）

▷3km第1位・波平常則(48才)第2位・新垣みさき(10才)第3位・比嘉良安(14才)▷5km第1位・宮城伸一郎(48才)第2位・徳嶺博人(10才)第3位・町田哲子(38才)



## 地域の活性化を推進

町地域自治活動推進地区選定委員会では、指定地区の選定をすすめていたが推進地区の5自治会がこのほど決り、指定事業助成金交付式が、12月21日午前、町長室で行われました。

これは、地域の特色を活かした個性豊かな地域づくりを推進し、明るい住みよい地域社会の創造と活性化を図ることを目的に、地域づくり推進事業の一環として今年から町が指定した自治会へ年間10万円を2年にわたり助成するもの。

平成3年度推進地区に指定された5自治会と事業内容は次の通り。

▷棚原・棚原自治会区活性化事業▷坂田・坂田まつり▷内間・公民館内の図書室及び図書整備▷嘉手苅・行政区改編にともなう地域活性化促進、青少年の育成、諸文化の継承発展総合事業▷小那覇・環境整備。



## 月末の日曜日は朝市へ

西原町でも朝市があることをご存知でしょうか。

昭和62年12月から始まり5年目に入った朝市は、町普及事業連絡協議会主催で、毎月最後の日曜日午前9時から、町役場前駐車場で行われます。12月29日はキャベツ、レタス、ホウレンソウがそれぞれ100円、しまダイコン150円など、新鮮な野菜が安く手に入ることから、時間前から多くの人が集まりにぎわいました。

長嶺由光会長は「町民との交流・ふれあいが目的で、今後は野菜だけでなく、リサイクル用品も出すことを望んでいる」と話していました。町生活改善グループ、農業青年グループ、農業研究グループらが協力し、これまでは団地などを中心に朝市を開いていたが、今後は町役場前駐車場を定置にする予定。





### 将来は町内で大音楽祭が！

町文化協会洋楽部会(平良かずえ部長)は、クリスマス・チャリティー・コンサートを12月23日午後、町中央公民館で開きました。

洋楽部会として2回目の発表となった今年は、町少年少女合唱団(25人)や洋楽部会会員(17人)、平良かずえさん(ソプラノ)や伊江朝明さん(バス)の独唱など、盛りたくさんの手づくりコンサートになり、歌の好きな観客らが盛んな拍手を送っていました。(現在会員募集中)



### 共に生きる仲間として理解を！

町心身障害児(者)を育てる会(呉屋定子会長)主催、'91クリスマスパーティーが12月26日午後4時から、町社会福祉センターで開かれました。

少しだけハンディをもった子ども達のために、西原高校ユネスコ同好会や西原団地ひまわり子供会も余興を披露。また、平安町長や西原ライオンズクラブサンのおじさんからプレゼントをもらい、約100人の子ども達は満足顔でした。



### よい汗流し新年を迎えた

平成3年12月31日正午から平成4年1月1日正午まで、初の町24時間ソフトボール大会が、西原中学校グラウンドで行われました。

ソフトボールを楽しむ会(後援=町教育委員会、町体育協会、西原同好会、西原ファイターズ、運玉ファイターズ、宮平スポーツ、オナガスports)が主催。中学生以上の団体や個人のべ約250人が紅白に分かれ、115イニング(紅192対白186)を試合し、楽しく汗を流し、はつらつとした気分で新年を迎えました。



### 活力ある地域づくりの拠点に

桃原構造改善センター新築工事安全祈願祭が、12月17日午後、字桃原工事現場で行われました。

これは、昭和62年に沖縄新農業構造改善緊急対策事業の西部地区に認定されたことを受け、農用地の高度利用や所得の向上、地域の活性化を図り、活力ある住みよい地域づくりの拠点となることが目的。

総工費2千6百万円で平成4年3月25日完成予定。



### 玉城京子さん(西原東中)県代表に

町選挙管理委員会(糸数雄介委員長)では、平成3年度明るい選挙啓発ポスターの町審査がこのほど終り、12月18日午後、西原東中学校で7人の入選者の表彰を行いました。

町代表として7人が県大会へ応募し、西原東中学校3年玉城京子さんが県代表(1093点中)に選ばれ、中央審査に応募することになりました。おめでとうございます。

なお、町入選者は次の通り。(敬称略)  
▷神谷厚節、喜友名三和、玉那覇英人、諸見里一徹、新垣寿子、長嶺由人、玉城京子(以上西原東中3年)



### 親子で楽しく歩こう

第11回町歩こう歩こう大会(主催・町教育委員会)が、12月15日午前に行われました。

日頃スポーツに親しむ機会が少なく運動不足になりがちな町民を対象に、健康体力づくりを推進することが目的。

町民体育館駐車場をスタートし、西原小学校グラウンドをゴールに6.8kmのコースを参加者約100人が歩き、さわやかな汗を流しました。





### 700本のツツジを植える

小波津団地自治会(仲本紀男会長)は、コミュニティ活動活性化地区指定事業の一環として1月12日午後、平戸ツツジ700本の植付け作業を行いました。

東村から購入した4色(白・赤・紫・紅)のツツジを、スポーツ少年団員を中心に、婦人役員らが、列ごとに色分けをして植付けた。すでにつぼみがつき、3月には満開します。仲本会長は「近い将来、当団地内でツツジまつりができるでしょう」と話していました。



### 東小父母(4年生)が給食試食会

全国学校給食週間(1月24日から1週間)に先立ち、西原東小学校(中村義盛校長)4年生112人とその父母らが1月14日正午、同校体育館で学校給食の試食会を行いました。

あいさつの中で宮城所長は「全国の学校給食が始まって100年になるが、本町は来年満20年を迎える。家庭でも学校給食の話をしてほしい。また、給食費もきちんと払って下さい」と話していました。

### 交通事故のない地域を推進

字幸地(県道29号線)の仲宗根鮮魚店前で12月26日午前、信号機点灯式が行われました。

県道29号線と町道石嶺線が複雑に交差し、事故も多かったことから、今回の信号機設置には地域住民も大変喜んでいました。あいさつをした外間栄徳さん(幸地自治会長)は「念願の信号機ができて大変うれしい。これで地域の安全が守れます」と述べました。最後は地域住民や保育園児ら(約130人)が渡り初めを行いました。



### 災害予防思想の普及に邁進

東部消防組合の出初式が、1月9日午後2時から、東部消防組合本部構内で行われました。

消防職員と団員が正副管理者や団長、消防長らの特別点検を受け、引き続き前監査委員や永年勤続(10年、15年、20年)の職員や団員33人の表彰が行われました。

多数の来賓が見守る中、平安恒政管理者は「災害予防思想の普及に努め、信頼のある消防に邁進しよう」と式辞を述べました。

### 町の発展を願い親睦・交流

平成4年町年始会が、1月4日午後4時から町中央公民館で開かれました。

町民をはじめ、町外からの関係者も含め約650人が参加し親睦と交流を深めにぎわいました。

年頭のあいさつの中で平安町長は、町政の現状や課題、今後の町づくりについての展望に触れ、「復帰20周年を迎えた今年を福祉元年と位置づけ、血の通うぬくもりのある福祉行政を推進し、『住んでみたい、住んでよかった』と実感できる町政を推進したい」と述べました。



# 『研修の成果を国で生かして』

崎原 アルマンドさん ごくろうさま  
仲宗根 アナマリアさん

町海外移住者子弟研修生の二人、崎原アルマンドさん(ペルー国)と仲宗根アナマリアさん(アルゼンチン国)の六カ月の研修がこのほど終り、一月八日午後六時から、プリマで修了式並びに謝恩会が行われました。

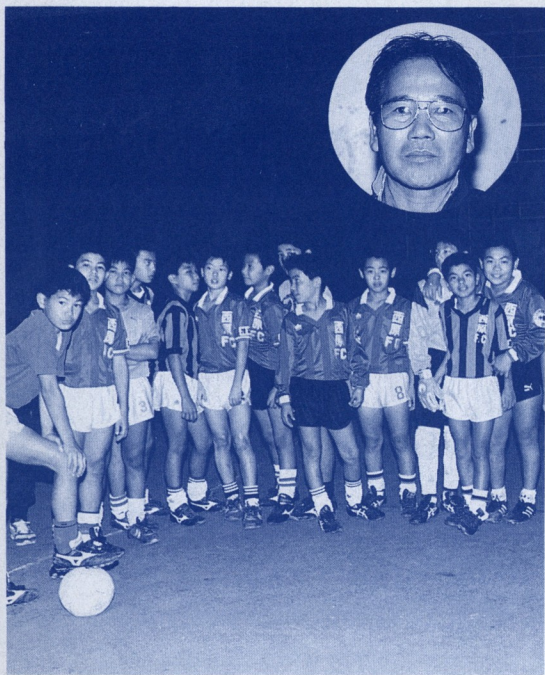
身元引受人(平良ヒデさん、仲宗根真理世さん、宮里信榮さん)や研修生受入機関、町関係者らが出席する中、あいさつした天願勇ハートライフ病院長は「アナマリアさんは健康で伸び伸びと一生懸命がんばった。家族同様につきあ



町海外移住者子弟研修生(中央)と受入機関のみなさん

ったので感慨深い。国に帰ったら役に立つ人になってほしい、小波津勇三善建設(株)副社長は「アルマンドくんは、大変頭がよい青年で、厳しく指導したことを一つひとつ真面目にこなした。今後、図面を書くには、不自由しないと思う」とそれぞれ話していました。

最後に、二人の研修生が「沖繩の人のあたたかい心に感謝します」と上手になった日本語でお礼のことを述べました。



練習する西原FCのメンバー(円内が山城正則さん)

今回は、結成八年目で見事県内優勝に導いた西原FCの指導者山城正則さん(字我謝二百四十一番地の二、54才)を紹介します。

結成から四年間は、長男の正明さんが指導にあたっていたが、父親の正則さんに交代した後は、毎週月・水・金曜日午後四時半から日没までの

## 優勝で大きく成長

がんばってます⑨

## シリーズ

約二時間、西原小学校グラウンドで定期的にサッカーの指導をしています。

現在西原FCは、西原小学校四年生以上の児童で構成。特に昨年从今年にかけて、六年生十九名が、七月下旬東京で開催された全日本少年サッカー大会や、今年一月初旬大分県で行われた招待サッカー大会で三位に輝くなど活躍をしています。

時間を守ること、あいさつをすること、言葉使いをていねいに、物を大切にすることなど、サッカーをする以前の基本的習慣の徹底が課題であったが、昨年の県内優勝をきっかけに子ども達が大きく成長し、態度もよくなったとのこと。

ボランティアでがんばる正則さんは「はじめはルールも全く無知だったが勉強しながらここまでできた。子ども達の派遣費については、町に感謝している」と話していました。

正則さん、これからも子ども達のためにがんばって下さい。

『あなたが主役』 すすんで納め 相互でたすける国民年金



# 区の紹介コーナー

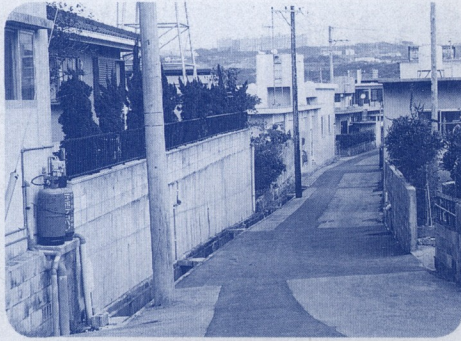
## 共同作業には協力的

### 安室区

安室区は、人口三百二十九人で七十九世帯(十二月末現在)の部落です。

これまでの十四区から分離し、一つの小部落で行政区を形成しています。

安室区は、四月開校予定の新設西原南小学校の所在地。新設校周辺の排水路の設備が



必要だという事務担任者の金城貞昭さんは「子ども達の安全確保の面から町に対し、部落内にある側溝等に蓋をするよう要請している。また、区民は、部落の共同作業など協力的です」と話してくれました。

## 期待される改善センター

### 桃園区

桃園区は、人口百七十一人で四十六世帯(十二月末現在)の部落です。

これまでの十四区から三部落(安室・桃園・池田)に分離された。

現在桃園構造改善センターを建築中であることから、区民全体がこれからの部落活動に大きく期待しています。

部落内の道路や排水路の整

備がまだまだであるという事務担任者の与那城あさ子さんは「改善センターが完成すると部落行事も増え、充実すると思う。自治会長と一緒にがんばりたい」と話していました。



## 路線バスの運行を

### 池田区

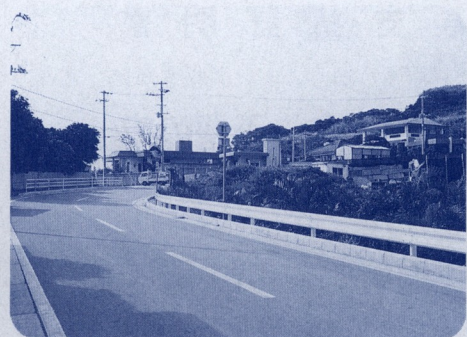
池田区は、人口三百五人で

百二十五世帯(十二月末現在)の部落です。

南伸道路が部落の西側を高架で走っていることや、那覇市首里、南風原町へ近いことから、最近、交通量が増えているのが特徴です。

事務担任者の宇久田朝秀さんは「路線バスがないため、交通が不便である。近くの部落で練習するのではなく、気がねなく使えるゲートボール場がほしい。また、池田区は、

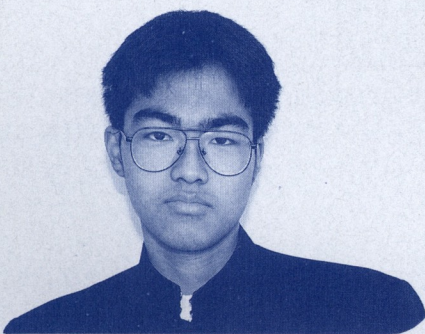
団結心が強いので助かっています」と話していました。



こんにちは  
“ひとこと”

④

西原中学校 三年  
城間 康雄さん



西原中学校生徒会長の城間康雄さんが「我が校のよい点は、人の話を聞く態度ができている。悪い点は、校歌をあまり歌わないことです」と話していました。

一月の試験が終り、ちよつぱりホッとしたのでしょうか。話す時の照れた顔が印象的でした。



# 平成4年度町県民税申告の受付を行います

西原町役場 税務課 町県民税係

電話945-4729(内線31)

お知らせ  
でーびる



申告

| 年 月 日        | 時 間           | 場 所         | 行 政 区 名          |
|--------------|---------------|-------------|------------------|
| 平成4年2月17日(月) | 午前 9:30~12:00 | 幸地ハイツ自治会事務所 | 幸地ハイツ            |
|              | 午後 1:30~ 4:30 | 幸 地 公 民 館   | 幸 地              |
| 平成4年2月18日(火) | 午前 9:30~10:30 | 徳佐田 公 民 館   | 徳 佐 田            |
|              | 午前11:00~12:00 | 森 川 公 民 館   | 森 川・千 原          |
|              | 午後 1:30~ 4:00 | 棚 原 公 民 館   | 棚 原              |
| 平成4年2月19日(水) | 午前 9:30~12:00 | 翁 長 公 民 館   | 翁 長・坂 田          |
|              | 午後 1:30~ 4:30 | 上 原 公 民 館   | 上 原              |
| 平成4年2月20日(木) | 午前 9:00~12:00 | 町役場二階大会議室   | 津花波・西原台団地・小橋川・内岡 |
|              | 午後 1:30~ 4:30 | 町役場二階大会議室   | 掛保久・嘉手苅・小那覇      |
| 平成4年2月21日(金) | 午前 9:30~12:00 | 内岡団地自治会事務所  | 県営内岡団地           |
|              | 午後 1:30~ 4:30 | 兼 久 公 民 館   | 兼 久              |
| 平成4年2月24日(月) | 午前 9:30~12:00 | 美 咲 公 民 館   | 美 咲              |
|              | 午後 1:30~ 4:30 | 与那城 公 民 館   | 与 那 城・西原ハイツ      |
| 平成4年2月25日(火) | 午前 9:30~12:00 | 平 園 公 民 館   | 平 園              |
|              | 午後 1:30~ 4:30 | 我 謝 公 民 館   | 我 謝              |
| 平成4年2月26日(水) | 午前 9:30~12:00 | 安 室 公 民 館   | 安 室・桃 原          |
|              | 午後 1:30~ 3:30 | 池 田 公 民 館   | 池 田              |
| 平成4年2月27日(木) | 午前 9:30~12:00 | 小波津団地自治会事務所 | 小波津団地            |
|              | 午後 1:30~ 4:30 | 小波津集落センター   | 小波津・呉 屋・県営西原団地   |

## 注 意 事 項

- ① 申告受付期間は、2月17日(月)から3月16日(月)までですが、3月16日直前の申告の場合は、大変混雑し長時間お待ちいただくようなことになりかねませんので、できるだけ2月17日から2月27日までに行政区ごとに予定されている日程の通り申告をお願い致します。なお、2月17日から2月27日までに申告できなかった方については、2月28日から3月16日までに町役場税務課窓口で申告をなさして下さい。

(但し、昼食時間、土曜日の午後、日曜日を除く。)

- ② 申告は、コンピューターで印字された【平成4年度町県民税申告書】で受付いたしますので、必ず持参して下さい。

◎印鑑も持参して下さい

- ③ 申告書に記入する場合、必ず えんぴつ で記入をして下さい。

## ④ 給 与 支 払 証 明 書

◎日雇及び給与の源泉徴収票が発行されていない事業所に勤務する方は必ず申告書の裏面に会社の証明をもらって下さい。

## 町県民税の申告不要の方

- ①税務署で所得税の確定申告をなさる方  
②職場から平成4年度給与支払報告書が提出されている給与所得者(給与所得以外の所得がない者)

## ※西原町に納付する町県民税の口座振替受付について

口座振替希望する方は金融機関の預金通帳及び印鑑(通帳使用印)を持参して下さい。

わたしたちは、勤労感謝の心を養い、物を大切にしましょう(町民憲章)



# 国 税 NEWS 税

## 所得税・消費税の 確定申告は、正しく、お早めに

平成3年分の所得税の確定申告は、2月16日から始まります。申告・納税の期限は、3月16日ですが、期限間近になりますと税務署は大変混雑し、落ち着いて相談が出来なかったり、長時間お待ちになるようなことになりかねませんので、確定申告は出来るだけお早めにお済ませ下さい。

### ◎個人事業者の方の消費税確定申告受付中

平成元年中の課税売上高が3千万円を超える事業者の方等(課税事業者)は、平成4年3月31日(火)までに平成3年分「消費税確定申告書」を作成して所轄の税務署に提出し、その消費税額を納付していただきますようお願いいたします。

### ◎ 還付申告センター設置のお知らせについて

本年度から、所得税の確定申告期間中(2/17~3/16)那覇税務署(那覇市旭町)に県下全域の還付申告者を対象とした「還付申告センター」を設置しました。

これは、都市地域に職場が集中するサラリーマン等の還付申告書が利用し易いようにという趣旨で設置したものです。

「還付申告センター」では、医療費控除や住宅取得等特別控除などにより還付申告書を提出される方々の御利用を呼び掛けています。

◎詳しくは、北那覇税務署(☎877-1324)又は税務相談室(☎867-6815)にお尋ね下さい。

▽字我謝四十一番地、呉屋ヨシ子さんが、故夫賀真さんの香典返しとして町人材育成会へ十万円。

▽町農業協同組合(宮平定昌組合長)が、チャリティゴルフ大会の収益金を福祉事業に役立てて下さいと町社協へ二十万円。

▽有ナカソネ内装(代表者仲宗根信一)が、設立十六周年

## 寄付・香典返し

を記念して、福祉事業に役立てて下さいと町社協へ十万円。

▽三善建設(社長小波津健)職員一同が、福祉事業に役立てて下さいと町社協へ十二万円。

▽リサイクル、公友会(会長岩村信男)が、リサイクル運動収益金を福祉事業に役立てて下さいと町社協へ六万円。

## 広報『にしはら』デザイン募集

### 1. 目的

「広報を見れば、その市町村の様子がわかる」といわれているように広報は、町行政の情報を正確かつ迅速に伝達すると同時に、町民と行政のコミュニケーションを目的とする重要な役割がある。

町民参加型で、愛着があり読まれる広報を目指すため、「にしはら」の文字をデザイン変えることで、親しまれる広報にする。

### 2. 主催

町広報審査会

### 3. 募集要項

#### (1)内容

①「にしはら」の文字(ひらがな)を長方形(たて3cm、よこ11cm)の中でデザインする。

②デザインした文字の説明を白紙に書く。

#### (2)応募方法

①封書または直接町役場企画課へ提出すること。

②応募者の住所・氏名・年令を必ず明記すること。

#### (3)締め切り

平成4年2月29日(土)

#### (4)優秀作の決定(1点)

広報審査会において決定する。

#### (5)表彰及び発表

優秀作には記念品を贈呈する。

発表は本人へ通知するほか「広報にしはら」に掲載する。

#### (6)その他

応募作品は返却しない。

なお、著作権は主催者に帰属する。

## (お知らせ)

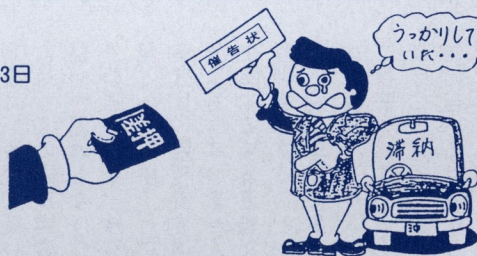
児童手当認定申請がまだの方は、早めに申請して下さい!

☆第一子対象 平成3年1月2日以後に生まれた児童

詳しくは町福祉課児童手当係へ  
☎945-5011(内14番)



1月16日~3月13日  
までの2ヶ月間



ただいま、  
自動車税の滞納整理強化月間中

まだの方は、お早めに最寄りの銀行、農協等へ。  
沖縄県

わたしたちは、時間を守り、すすんであいさつをしましょう(町民憲章)



## 2月(FAB)行事・祭事予定

- 1日(土) ○西原保育所発表会 9:00 社会福祉センター  
○豆まき 14:00 児童館  
○DPT 13:00 町中央公民館
- 2日(日) ○第5回サークル対抗テニス大会  
○動く美術館第5回西原町展(16日まで)10:00~18:00 町民体育館
- 5日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター  
○くわあーレクラブ 15:00 児童館
- 7日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里  
○三歳児健診 13:30 社会福祉センター
- 8日(土) ○町役場閉庁  
○映写会 14:00 児童館
- 9日(日) ○平成4年度町職員採用試験 9:30 町中央公民館
- 12日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター  
○くわあーレクラブ 15:00 児童館  
○精神保健相談 10:00 社会福祉センター
- 14日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館  
○母親学級 13:30 社会福祉センター
- 15日(土) ○麻疹 13:00 町中央公民館
- 19日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター  
○くわあーレクラブ 15:00 児童館
- 20日(木) ○1才半健診 13:30 町中央公民館
- 21日(金) ○町社協食事サービス 10:00 老人ホーム守礼の里  
○母親学級 13:30 町中央公民館
- 22日(土) ○町役場閉庁  
○第8回町社会教育研究大会 14:00 町中央公民館
- 23日(日) ○朝市 9:00 町役場前駐車場
- 26日(水) ○心配ごと相談 14:00 社会福祉センター
- 28日(金) ○町社協食事サービス 10:00 町中央公民館  
○母親学級 13:30 社会福祉センター
- 29日(土) ○ひなまつり会 14:00 児童館  
○第14回中頭地区学力向上対策推進大会(西原大会) 13:00 坂田小学校体育館  
○町伝統芸能協会第1回発表会 14:00、18:00 町中央公民館

### 女性コーナー 連載 9

#### 新しい産業づくり

味噌、漬物もりっぱな商品!

企画課 安里 英子

他から企業を誘致するのではなく、私たちにできるような新しい産業とは何なのか、その可能性について考えてみましょう。そのヒントのひとつとして

例えば、昨年開催された西原まつりの産業部会の展示物をおもしろくしてみよう。会場の体育館には、主婦たち

が出品したさまざまな種類の農産加工場がありました。漬物類、味噌、お菓子、薬草など……。むろんこれらの加工品は自給用につくられたもので、商品ではありません。しかしながらこの中で、味噌については農協婦人部が、町内で商品として売り出しています

し、学校給食センターで使われる味噌もすべてまかなっています。手づくりの味噌は添加物も入っていませんし、その上おいしいということで大好評です。では、もっとこの味噌を町内で特産品として位置づけて大々的に売り出してみようというのでしょうか。ただし、ただの味噌では、めずらしくもありませんから(日常消費するものについては、ほんとは、特別である必要はないのです。が……)、これにあるイメージ、

たとえば「健康」を売りものにするとか、パッケージを美しいデザインにするとか、そういう付加価値といえますか、商品としての戦略をたてないと移入物の味噌にはたちうちできません。

今、町の生改グループからは漬物工場をつくってほしいという要求があります。これも、自給用から、産業化への第一歩といえるでしょう。これが実現すれば女性を中心に企画、運営していく、新しいタイプの働らく場となるでしょう。

### 国税査察制度



巨額な脱税を暴く、「マルサの女」という映画が話題になったことがあります。女優・宮本信子さんが演じる主役が、「国税査察官」でした。わが国では申告納税制度を採用していますが、なかには不正な手段で故意に税を免れようとする者がいます。これら脱税者を「国税犯則取締法」によって摘発するのが国税査察官です。査察官は国税庁、全国十一の国税局、沖縄国税事務所に総勢約千百人配置されています。

国税査察制度は、昭和二十三年に導入されました。査察調査は、脱税の疑いがある者に対しての内偵調査、脱税の疑いが濃厚となった者に対する強制調査、検察官への告発という手順で行います。査察官は、脱税者を逮捕する権限はもっていませんが、脱税に関する帳簿書類などの検査、差押えをすることができます。

平成二年度に着手した件数は二百四十二件、処理件数は二百三十四件で、そのうち検察庁には処理件数の六八・八%に当たる百六十一件を告発しました。